＜先週の説教から＞

『詩編㉕―主の道を教えてください！』

武田　真治　牧師

詩 編 ２５：１～２２　使徒言行録 １８：２４～２８

この詩編25編の冒頭の言葉は「主よ、わたしの魂はあなたを仰ぎ望み」と訳されていますが、これはもっと端的に「主よ、私の魂を高く上げます」と訳すことが出来ます。かつてバビロニア国の軍隊によって、エルサレムが陥落させられ、エルサレム神殿が完全に破壊された以降、もはや動物を祭壇で燃やして煙や香りを神様へと「高く上げる」ことが出来なくなった時、せめて私たちの“心を高く上げよう”と言われることが多くなりました。今でも、この言葉は私たちの信仰の思い＝祈りの思いとも通じます。

この時の詩人は「御覧ください、敵は増えて行くばかりです。わたしを憎み、不法を仕掛けます」という状況に置かれていました。その中で彼が願っていることは「主よ、あなたの道をわたしに示し、あなたに従う道を教えてください」なのです。この厳しい状態を脱し、辛い状況から免れる“道＝方法”を示してくださいと。ここには必ず神様が自分にとって良き道を用意してくださっているという信仰があります。まさに新約聖書でパウロが『(神は) 試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます』(コリント第一 10：13)の言葉に通じる信仰ではないでしょうか。ただ、今はその道がなかなか見付け難い状態になっていたのでした。しかし、この自分を取り囲んでいる敵（＝人間とは限らず、困難や社会状況、悪的力）の向こう側に「主の道」があるのだから、「主よ、私の魂を高く上げます」と。うずくまって、自分の身の周りの状況に目を囚われている状態から、神様を仰ぐことで背を伸ばし、目線を上げて、神様が備えて下さっている“道”を見出そうとしているのです。その思いは「わたしは貧しく、孤独です。悩む心を解き放ち、痛みからわたしを引き出してください」という言葉に表されています。そして、そのように神様へと心と目を高く上げるために「どうかわたしの罪を取り除いてください。」「若いときのときの罪と背きは思い起こさず」と願うのです。

この詩編で素晴らしいと思わされることは、旧約聖書の他の箇所に時々、現れるような、律法を守っている正しい人間の祈りだけが神様に聞いてもらえるとか、立派な人間のみが自信を持って神様に顔を上げられる等には考えていない点です。むしろ「主は恵み深く正しくいまし、罪人に道を示してくださいます」であり「主の道を貧しい人におしえてくださいます」と信じている点です。この信仰こそイエス様が私たちに伝えようとしてくださっている御旨ではないでしょうか。それこそ『心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。』(マタイ５：3)に通じます。まさに“天の国はその人たちのもの”とは、神様に通じる“道”を見つけることではないでしょうか。その道を歩むために、私たちも、主に向かって「心(＝魂)を高くあげよう」！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．9月７日（水）20：00
Ⅱ．9月８日（木）10：30

聖　　書：　ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：　敬老祝福を覚えて
担 当 者：　(水) 村上　　(木) 金刺
祈 る 人：　保坂さん　　松下さん

【教勢報告】

主日礼拝　　男　21　女　45　計　66
祈祷会　Ⅰ．男6 女3 計9　Ⅱ．男2 女9 計11
日曜学校　　休会

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　９月　１１日（日）

聖　書：　エレミヤ書　３１：３１～３４
ヘブライ人への手紙　８：１～１３
説　教：　「ヘブライ㉕ ― 新しい契約が現われたから」　武田 真治 牧師
讃美歌：　６(1)、３２(1)、５７(1と2)、１２７（1と2と3)、２８

【次週当番表】

司式:保坂長老　奏楽:須田 礼拝:齋藤長老
献金：土門　中村　　受付：鈴木　橘本
会堂準備：飯島　岡本　金刺　中村
看板：岩佐　　週報：金刺　　お花：茨木

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
礼拝後：・敬老祝福・壮年会・婦人会・ダビデ会・聖歌隊練習

６３－３６

週　報

2022年度　教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２２年　　９月　４日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/